

嘉麻市社協だより

# えがお

No. 95

発行日/2014.1.1

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎 1143 番地 3 稲築住民センター内

TEL.0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX.0948-83-8005 [info@kama.syakyo.com](mailto:info@kama.syakyo.com)

[www.facebook.com/kama.swc](http://www.facebook.com/kama.swc)



今年も

元気いっぱい

千手っ子

～千手小学校6年生～



# みんなの力で地域を支える

平成25年11月26日(火)から稲築住民センターを会場に、市民後見人養成講座がスタートしました。市民後見人とは、判断能力が十分でない方の生活を支えるために、同じ地域で暮らす住民として身近な立場で後見活動を行う方で、寄り添う支援ができるところに期待が寄せられています。今回の基礎講座には、市外の方7名を含む27名の方が受講されています。

当日は、開講式を行い、本会の村上会長や嘉麻市保健福祉部長の秋吉俊輔さんのあいさつの後、木山事務局長がオリエンテーションを行いました。

これから、約3カ月にわたりに行われる26講座1,820時間の皮切りとして、弁護士河原一雅さん(北九州市社会福祉協議会 権利擁護・市民後見センター)ら「いと」所長から「成年後見制度の基本的理解」について



の講義がありました。制度の概要や後見人として活動する上での心構えなど、内容は多岐にわたりましたが、受講者のみなさんは熱心に聞き入っていました。

成年後見制度の申立件数が増加する中、市民後見人は、地域福祉の新たな担い手としてますます注目されています。この講座で成年後見制度への理解を深め、地域における支え合いの輪を市民後見人講座受講者のみなさんとともに広げていきます。

## 地域福祉部紹介 No.10

### 平東行政区地域福祉部



▲1年を振り返り盛り上がった忘年会

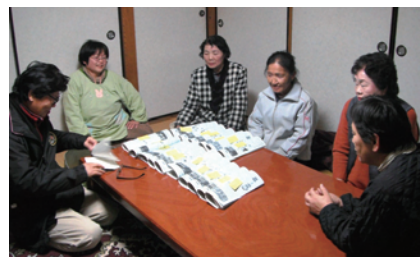
平東行政区(鷺山誠行政区長)には、約190世帯の方が生活されています。60年ほど前には、炭鉱の住宅地として栄えていたそう、現在もその遺構が多数残っています。

地域福祉部では、地域のつながりづくりを目標に、高齢者を対象としたふれあい・いきいきサロンの開催や同好会によるカラオケ教室、裁縫教室の支援、老人会と協働した集いの場づくり、子どもたちの交流などが活発に取り組みされています。

12月8日(日)に開催

された老人会では、参加された21名がおしゃべりやカラオケ、食事の時間を楽しみました。ほとんどの方が、月1回のふれあい・いきいきサロンにも参加しているようで、「みんなと顔を合わせると、時間を忘れてしまつくらいおしゃべりに夢中になってしまいます。月に2回、サロンと老人会で集まること」が本当に楽しみです」と開催を心待ちにしている声が聞かれました。

また、地域福祉部の役員会では、意見や要望をもとにサロンの活動内容を決めたり、行事の確認、地域の中で気になっていることや困りごとなどについて話し合ったりしています。サロン当日は、一人でも多くの方に参加してもらえよう、役員が協力してひとり暮らしの方や高齢者の方の家々をまわり、声をかけているそう



▲年末のサロン開催に向け、話し合いを行う役員のみなさん

です。

鷺山行政区長は「ひとり暮らし高齢者が増え続けていますが、家にひきこもらず、外に出てもらう機会になればとの思いで活動しています。顔の見えるつながりづくりのために継続していきます。またこの地域は、昨年、大雨による床上浸水などの被害に遭われた方もいて、災害に備えた取り組みを協議していきたいです」と今後の活動の充実に向けた熱い思いを語られました。

西南学院大学には、学生のみなさんで結成された「いと」というボランティア団体があります。活動の主な目的は、東日本大震災の被災地への復興支援であり、若いパワーでいろんなことに積極的に取り組まれています。今回は、メンバーのみなさんに、活動や思いなどについて伺いました。



「いと」を結成したきっかけを教えてください。

西南学院大学からの派遣で東日本大震災の被災地でのボランティア活動をした学生が「被災地へ行って終わりにするのではなく、福岡でもできることを継続していきたい」という思いを持ち、天神で街頭募金を始めました。

その活動が学内に広まり、参加する学生が増えていきました。「Shi-i Fukuko to Tokyo」という3・11のイベントにブースを出して参加することをきっかけに、正式にボランティア団体「いと」として結成しました。現在は、24名(男子6名、女子18名)で活動しています。

団体名「いと」の由来は何ですか？

ひとつひとつの活動は、「点」に過ぎないけれど、その点がたくさんあれば「線」となり、いつかは大きな「面」となることを願い、「点」を繋げる「糸」をイメージしたことが由来です。

どんな活動をしているのですか？

特定の活動日や内容はありませんが、主に、街頭募金活動や被災地へメッセージカードを送ろうプロジェクト等を行っています。今は、クリスマスカードを作成し被災地へ送る準備を進めています。「は



▲学園祭では、宮城県気仙沼産のシャークナゲット、三陸産のわかめスープ、仮設住宅で作られた小物等を販売しました。

▼メッセージカードは、日本バプテスト連盟の方が被災地を訪問する際に一緒に配ってくださいます。



るかのみまわり絆プロジェクト<sup>※</sup>にも取り組み、東日本の被災地で配られたのみまわりの種を学内にまいて、育てています。また、災害ボランティアに関するセミナーや説明会などにも積極的に参加しています。心に残っている活動を教えてください。

チャリティーコンサートを開催したことです。「いと」の活動の様子を新聞やテレビで取材してもらったのですが、その情報を見た西南のOB、OGの方たちが、「一緒にコンサートをやりたい」と声をかけてくださいました。

▼学内で、はるかのみまわりをみんなで育てています。昨年の夏は大きな花が咲きました。



▲天神での街頭募金活動では、たくさんの方に温かい気持ちをいただきました。

活動するなかで心がけていることなどがあれば教えてください。

常に誰かのための思い、自分本位にならない活動を心がけています。

東日本大震災被災地への支援を継続している理由は何ですか？

東日本で被災地の方と話をしたり支援活動を経験したことで、メンバーがそれぞれにかを感じ、「自分にできることがあればやりたい！」という思いが心の中にあり続けるからです。

今後の目標を教えてください。

今後も継続して支援を続けることです。いつか、被災地の方を福岡に呼んで一緒になにかできないかと考えています。また、チャリティーコンサートのような企画もまたしたいです。そして、これから発生するであろう災害でも、対応支援できるような団体を目指しています。

私たちは、これからも、活動が大きな「面」となることを信じて、ひとつひとつの「点」の活動を続けていきたいです。

※はるかのみまわり絆プロジェクト  
阪神大震災から半年後、亡くなったはるかちゃんの家があった空き地に無数ののみまわりが咲く。「はるかのみま

わり」を復興のシンボルとして、全国に種を届け、花を咲かせる活動で、現在は東日本大震災の被災地へと受け継がれている。

母親暦もかれこれ18年。今年は、大学受験生と高校受験生を抱えている。振り返れば、お子を授かり産み育てるといふ責任重大な役をさせてもらってきたことで、わたし自身が得た学びや豊かさは計り知れない。「子育て親育ち」というタイトルには、そんな思いを込めている。子育てに正面からまっすぐ向き合い、関わってきた一つ一つの事柄によって、わたし自身もわたしなりに、母親として、ひとりの人間として、成熟してきたと思うからだ。この機会に、自分自身の経験と、仕事として多くの子育て中の女性達に、お互いの気持ちや意見、欲求を大切にしたい対人関係を築くためのトレーニングを提供してきた経験から、あらためて「子育てⅡ人が育つ」ということについて振り返ってみたいと思う。

子どもを授かったかも・・・と生きたとき、それは「ドキッ」とする経験だった。女子として生まれるんだから、いざれ子どもを産むのかもしれない、程度の認識だったから、そのとき、母親になる現実味が帯び、何も知らない自分に

直面した。子どもを産むことはできても、はたして、わたしは母親になれるのか？という疑問が浮かんだ。即座に「非常にあやしい」と思った。子育ては原始時代から同じいとなみだろっけど、ご多分にもれず、「赤ちゃん」を身近に感じる生活経験は乏しいうえに、多くの女性と同じように、周産期に関する知識を得ることなく大人になっただので、不安は想像以上に大きくふくらんでいった。

どうしたら、母親としての自覚を育みながら妊娠期を過ごし、出産から育児へとスムーズに入っていけるかを考えた。胎内では、赤ちゃんが育っている。ふと「主体的に産む」経験をすることがとても重要に思えた。あちらこちらから聞こえて来る出産経験や、TVで見える出産シーンも、当事者のはずの女性がとても受け身だと映った。しかし、それでは、わたしの場合は自覚が持ちづらい。この経験の主体となるには、できるだけ自然に産むことだと思った。そう思っただけでも妊娠期の過ごし方が変わる気がした。そうしたら、徐々に母親になる自覚を育みながら、わた

しなりの母親になれそうな兆しがあつたのだ。

ご縁があつて、自然出産に前向きな産科医と出会うことができた。一人目の子は水中出産で誕生した。そのような出産するには条件があり、それは夫婦で周産期教育を受けること、というものだった。妊娠の仕組み、胎児の成長について、出産の仕組み、その舞台である女性の身体の機能など、科学的な裏付けとともに学ぶ機会を得られたことは、その後の子育てにおいて非常に大きな影響を与えていると思う。

お子が誕生し、発達の過程に寄り添いながら右往左往し、目の前のことをこなすのに明け暮れていた日々も、周産期教育を受けたことで再認識した、女性としての自己信頼感に支えられていたと思う。また、「胎内記憶」研究の第一人者である池川明産科医との出会いから、子どもは親を選んで産まれてくるのだという研究成果を知った。生まれてくる赤ちゃんは、生きようとするエネルギーそのものだ。その生きようとする力を信頼して、その子の育ちのための環境を整え、

寄り添うことが、わたしのできる親としての仕事だと思った。立派な親になる自信はなかつたが、それならできると思った。こうして、妊娠期からのわたしの子育ては始まった。

次回は、子育て家族をめぐるコミュニケーションについて書こうと思う。



鶴島夕子さんプロフィール

東京出身。3・11をきっかけに、田川郡赤村に移住、自然に寄り添う暮らしを始める。非暴力のコミュニケーション

ニケーションの考え方と方法論であるアサーションとの出会いをきっかけに、心、体、意識などの領域について学び続けており、現在は、コミュニケーションワーク、セルフケア、ライフキャリアなどよりよく自分を生きるためのプログラムづくりやワークショップ等を行っている。ヘルスカウンセリング学会公認ソーシャルスキルトレーナー、コミュニケーションワークナビゲーター。

## 山田ふれあいハウスを ご利用下さい

山田ふれあいハウスは、囲碁や将棋の対局、児童・生徒の放課後の勉強などで、多くの方が来館されます。ホールは無料で開放していますので、ぜひご利用ください。

また、最大30名収容可能な会議室も備えています。こちらは、事前の申し込みが必要です。

### ○会議室利用料金○

1時間あたり 250円  
(冷暖房使用時 1時間あたり440円)



▲将棋や囲碁の対局などで賑わっています。

### ～利用者の方にお話を伺いました～

- ・ほぼ毎日寄っています。賑やかなことが好きなので、今まで開催されたイベントはほとんど見に行きました。これからも楽しみにしています。
- ・山田ふれあいハウスに来ると、囲碁や将棋など同じ趣味の仲間を見つけることができ、自然と話が弾み、対局を楽しめます。知り合いが増えていく事がとても嬉しいです。

お問い合わせ先：山田ふれあいハウス  
上山田502番地 6 ☎0948-52-1847

## 安心をお届けします 空き家管理住まいるサービス

市内には、一目で空き家と分かる家屋が年々増えてきています。そのままにしておく、草木が生い茂って害虫が発生したり、犯罪につながることもあり、所有者や周辺住民の中には不安を感じている方もおられます。

嘉麻市社会福祉協議会では、市内の空き家を適切に管理していくことで、皆さんに安心をお届けする『空き家管理住まいるサービス』を実施しています。

現在、5軒の空き家を管理し、毎月の基本サービスのほか、ご希望に応じて、草刈りなどのオプションサービスも行っています。

利用要件等は下記のとおりとなっていますので、お気軽にご相談ください。

### 記

#### 【対象家屋】

市内にあり、本人、配偶者、子または父母が所有者となっている家屋。※公営住宅や賃貸、商用物件は除きます。

#### 【利用できる方】

以下の理由で家屋の管理ができない方。

- ①市外に住んでいるため
- ②長期出張、転勤となったため
- ③入院、施設入所したため

※利用にあたっては、嘉麻市社協の会員(年額1,000円)にご加入いただきます。

#### 【サービスの内容と料金】

- ・基本サービス(月1回)  
(通風、通水、内部・外部のチェックなど)利用料 3,000円/月  
※毎月サービス実施後に、写真付きの報告書を郵送します。  
※台風や大雨などの有事の前後には巡回して状況を確認し、異状があれば、連絡を致します。
- ・オプションサービス(掃除、庭の草刈り、剪定、近隣訪問など)  
※内容によって、金額が異なります。事前に見積もりを行います。

### 【お問い合わせ先】

嘉麻市社会福祉協議会 電話0948-42-0751

## 「読めば答へが見つかるかな」 社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に図書券(千円分)をプレゼントいたします。

### ?? 問題

平成25年11月にスタートした市民役見人養成講座の最初の講義内容は?

- (1) 市民役見人の基礎
- (2) 成年後見制度の基本的理解
- (3) 任意後見制度について

● 応募方法 ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、1月31日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

● 送付先 〒820-0205

嘉麻市岩崎1143番地3

嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: riki@kama-syakyo.com

● 前号のクイズの答え (3)

千手小学校のイベントで児童が歌を歌う時に校庭にあった木は、けやきの木でした。

応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・昔懐かしい風景を見て、今も昔も変わらずに、過ごしてきた場所を大切にしないといくと、考えさせられますね。もっと、素敵な町並みを色々な方々に、知ってもらえたらいいですね。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



# ボランティア

## 市民活動センター情報



### ▲朗読・コア

月に2回行う勉強会で発声の練習をします。

### ボランティアグループの活動に参加しませんか？



### ▲福寿草

朗読をテープにふきこんでいます。

視覚に障がいがある方に声の広報を届けてきた『音読ドリム』が、平成25年12月をもって活動に終止符を打たれると伺い、代表の宇野洋子さんを訪ねました。

「身近なまちの情報を伝えたい」との思いで、平成6年から市報（町報）や議会だより、社協だよりなどをテープに録音し、自宅まで届けてこられたのですが、会員数が減ったり、体調を崩されたりとメンバーにかかる負担が増えてきたことで、このような結果になってしまったと寂しそうに語られました。

しかし、テープを聞いた方からの「楽しみにしてるよ」「今まで知らなかったことがわかるようになった」という声に励ま

されてこまでやってこれたことや、市内にはボランティアグループ『福寿草』や『朗読・コア』が同じ活動をされていることをうれしく感じているとも宇野さんは話されます。

これからは、「福寿草」が広報嘉麻と議会だよりを、「朗読・コア」が社協だよりえがおを録音されることになりましたが、ご自宅へテープを届けることが難しく困っています。ご本人に手渡したいというドリームさんの思いを今後も引き継いでいきたいので、朗読に関心のある方や届ける活動にご協力いただける方、テープを聴いてみたい方は、ぜひ、かまボランティア市民活動センターまでご連絡ください。

19年間の活動を次へとつなぎたい

## ボランティア募集 イベント情報

### 第24回 駅伝ボランティア

#### 楽しく走ろう ふくおか子ども駅伝 in 嘉麻

県内の子どもたちがグループで楽しく走る、ふくおか子ども駅伝 in 嘉麻が開催されます。この大会で、テント設営やコース整備を行うボランティアを募集しています。

- 日時 平成26年2月16日（日）  
午前8時30分～午後3時
- 集合場所 山田生涯学習館  
（嘉麻市上山田 1347 - 10）
- 内容 テントの運営・設置、コース運営など
- 募集人数 10名程度
- 募集締切 平成26年1月31日（金）

### ふくおか“きずな”フェスティバル

ボランティアの交流や子育て支援の輪を広げる「ふくおか“きずな”フェスティバル」が開催されます。入場は無料ですので、ぜひご参加ください。

- 日時 平成26年2月16日（日） 午前9時40分～午後3時30分
- 場所 クローバープラザ（春日市原町3-1-7）
- 内容 ①講演「東日本大震災での支援活動について～チームやっぺ南相馬の活動をとおして～」講師 武田聡平氏（チームやっぺ南相馬役員）②親子で楽しめるイベント③ボランティア活動別分科会④高齢者疑似体験⑤障害児自立支援施設授産品フェア・食バザー⑥スタンプラリー等

備考 上記の①、③については、1月16日（木）までに申し込みが必要ですので、直接下記事務局までお問い合わせください。

公益財団法人福岡県地域福祉財団振興課  
☎092-582-2396

お問い合わせ・お申し込み先：かまボランティア・市民活動センター ☎ 0948-42-0751

# 今日の二冊



## 「家族という暴力」



著者／芹沢俊介  
出版社／春秋社

この本は最初に、1997年の神戸少年事件と2003年の長崎少年事件について書かれています。12歳と14歳の少年が子どもを殺害するという社会に衝撃が走った二つの事件ですが、二人の加害少年が虐待的世界に置かれていたと述べています。

## 2月の総合相談

法律相談は予約が必要です。先着順となっていますので、お早めにお申し込みください。

### 法律相談

とき：2月6日（木）  
13:00～16:00  
ところ：山田ふれあいハウス

とき：2月20日（木）  
13:00～16:00  
ところ：稲築住民センター

### 心配ごと相談

とき：2月12日（水）  
13:00～15:00  
ところ：稲築住民センター

とき：2月26日（水）  
13:00～15:00  
ところ：稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会  
☎0948-42-0751

す。ひとつは、身体的暴力・心理的暴力・性的暴力・ネグレクト等、論じられているものだけを虐待ととらえ、これに含まれない虐待的行為が見過ごされている事。もうひとつは、虐待あるいは虐待的行為を行っている本人に自覚が乏しいこと。

また、虐待を防止するためには、暴力とは何か、虐待とは何か、どんな事情で虐待が生み出されるのかということ、私たちが一人ひとりごとと考えることが大切だということが強調されています。誰にでもある内部の暴力性が虐待につながるのであり、それを断つためには「考える」ということを突き詰めるしかないという考え方は、私にとって新しいものでした。自分も虐待をしてしまいかねない暴力性を内部にはらんでいるという発見や自覚が、虐待に苦しむ子どもたち、虐待をして苦しんでいる親や大人たちとつながり寄り添う一歩になるというメッセージが心に残っています。

他にも、愛着に関する考察から現代の家族の在り方の指摘や子どもから遊びを奪うことと虐待の関連性などについても書かれています。

事件の裏側にある少年たちの苦しみや心の闇に目を向け、広い視点から「虐待」ととらえられている本で、自分の考え方を直すことができた一冊でした。（溝口）

# 炭鉦の記憶



No.82

三井山野炭鉦の労働者やその家族が数多く暮らしていた鴨生北町は、昭和20年代には、炭鉦住宅を取り囲むように、売店や床屋、図書館のほか、映画館、クラブ、たまつき場と呼ばれていたビリヤード場など娯楽施設が建ち並んでいて、とても賑わっていたそうです。

また、町内のほぼ中心地には大きな銭湯があり、みなさんの憩いの場となっていました。ご両親がその銭湯を経営していた梅永昭江さんは、「そりゃすごい賑わいやったよ。100人くらいは入れる大浴場が男女2つずつあって、その他にも時間外用の小さめの浴場、それに葉湯まであったんですよ。子どもの頃からブラシを持たされて、掃除を手伝いよったよ。」と思い出を語ります。

その銭湯の隣には、土俵が設置されていて、年に数回、力自慢の男たちによる取り組みが繰り広げられ、家族や近所の方たちも応援に駆けつけて、熱い声援を送っていたそうです。梅永さんは「まだ幼かったか

ら記憶も曖昧だけど、とにかくすごく盛り上がり過ぎていたのは覚えちゃうよ。自分の父親が勝つと誇らしかったね。」と話します。

このほかにも、トロッコの「車輪上げ」や「米俵上げ」などみんなで楽しめる催しがたくさん開かれていたことが、住民同士のつながりを強いたものにしていただけたのかもしれない。



▲銭湯や土俵があった場所付近には、集会所が建ち、サロンなど地域の方たちの集いの場となっています。

炭鉦時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。  
嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。  
TEL 0948 (42) 0751

# 大学生の私たちに できることを

11月23・24日の2日間、福岡県主催の大学生災害ボランティアアサポーター養成研修が行われました。講師の李仁鉄さん（にいがた災害ボランティアネットワークの事務局長）からの被災地の状況や災害ボランティアの重要性について説明、実際にセンターを開設した場面を想定してのワークショップが行われました。また、3ページで紹介した西南学院大学のボランティア団体「いと」から、東日本震災の被災地支援活動について報告があり、参加

されたみなさんは、大学生という立場をいかし活動されているところに共感されていました。また、2日目は、木山事務局長が、「平常時の活動とネットワークづくり」をテーマに話をし、住民の声を聴き捨てないことやアウトリーチ、地域福祉活動の意味、災害時と平時の活動など、日頃どんなことにこだわって活動しているのかについて説明をしました。大学生のみなさんにも、地域福祉というものが身近にあることをわかっていただけたよう



▲木山事務局長の話を熱心に聞く大学生（福岡県立大学、西南学院大学、久留米大学、長崎大学）のみなさん

でした。研修が終わわり、受講した感想として、災害ボランティアとして活動してみたい、そのためにはもっと勉強したい、など前向きな声があがっていて、若々しく、パワフルな大学生のみなさんの今後に期待できる研修でした。

## 今月のえがお

最近えがおになった出来事を教えてください！



高橋 弓子さん

運動不足を補う目的で、ステップ運動を2カ月続けた結果、体重が1.5kg、腹囲が4cm減少し、えがおになりました！

先日の天神むつみ会では、手作り弁当が美味しく、食べ過ぎてしまいました。今後も健康に気遣い運動を続け、陶芸の作品づくりに励んでいきたいと思えます。



手嶋 雄太さん

セミナーの講師をしに、久留米まで行ってきました。そこで、学生時代の友達に久々に再会し、テンションがあ

がりました！！嬉しすぎて、セミナーでは何を話したのかあまり覚えていませんが・・・(笑)

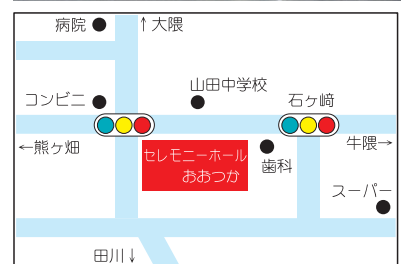
次会うときは、ゆっくり飲める場で会いたいなあ★☆☆

## 指定葬祭場紹介 セレモニーホールおおつか 嘉麻市下山田 9-1 ☎52-1212

近年、婚活ならぬ「終活」が注目されています。終活とは、「人生の終わりをより良いものとするため、事前に準備を行うこと」です。終活を通して自分の伝えたいことや家族への思いに気づき、今までの人生を見つめ、これからを考えることができるのではないでしょうか。

当会館では、エンディングノートの進呈や事前相談なども行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、セレモニーホールおおつかを含め、市内に8カ所あります。

- |                                 |                                   |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| かほ葬祭 あじさい会館 . . . . . ☎62-5566  | 善光会館 稲築会場 . . . . . ☎83-5000      |
| おかむら葬祭 岡村会館 . . . . . ☎42-4420  | 飛鳥会館 南斎場 . . . . . ☎(0120)42-2241 |
| きど葬祭 やまさ碓井斎場 . . . . . ☎62-4499 | ひさつね会館 . . . . . ☎52-0758         |
| いすや会館 . . . . . ☎57-4444        |                                   |



みなさまの善意、  
心より厚くお礼申し上げます。

寄附・香典返し

11月1日～11月30日受付分

●香典返し

【漆生本村】

親族 西田 保江 様  
故 東 哲子 様  
親族 原田 富子 様  
故 原田 周與志 様

【漆生中央】

親族 中並 知子 様  
故 中並 龍雄 様

【口春】

親族 野口 利明 様  
故 野口 セツコ 様

【樋渡】

親族 大谷 絹代 様  
故 竹中 フジ子 様

【鴨生町】

親族 水野 孝子 様  
故 水野 スエノ 様

【辻中籠】

親族 曾我部 キミエ 様  
故 曾我部 早利 様

【上臼井上】

親族 宮田 和明 様  
故 宮田 スマ 様

【熊ヶ畑第二】

親族 江藤 久人 様  
故 江藤 純夫 様

【神幸】

親族 田中 義晃 様  
故 田中 富美代 様

【本町】

親族 松井 恵 様  
故 松井 ハツミ 様

【木城】

親族 西川 政子 様  
故 高辻 スガノ 様

【大橋】

親族 金光 正弘 様  
故 立川 シズエ 様

【昭和】

親族 澤田 和幸 様  
故 澤田 ツタエ 様

【長野】

親族 神谷 奈々美 様  
故 佐々木 アゲヲ 様

【山下】

親族 山崎 数彦 様  
故 山崎 恒明 様

【上西郷】

親族 岡田 英和 様  
故 岡田 朋子 様

【千手】

親族 大屋 トキハ 様  
故 大屋 正浩 様

【桑野】

親族 大里 道子 様  
故 大里 芳雄 様



【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同 様  
神幸 かいだ美容室様

【子育てリユース】

漆生中央 匿名 様  
口春 高橋 和恵 様  
鳴生北町 服部 陽子 様  
平山 松隈 明美 様  
下臼井東 田中 雅子 様  
石ヶ崎 渡邊 綾 様  
宮吉 川上 秀子 様  
桂川町 岡本 千郷 様  
桂川町 和田 美江 様  
飯塚市 笛田 和美 様  
飯塚市 盛 啓子 様  
田川市 小松 直子 様

【アルミ缶】

漆生本村 匿名 様  
漆生南部 市原登志彦 様  
漆生南部 西岡 聖 様  
樋渡 藤春 一枝 様  
鳴生第一 花村 精一 様  
銭代坊 匿名 様  
熊本 中島 政美 様  
下臼井東 匿名 様  
百々谷 吉元 悦子 様  
神幸 匿名 様  
中央 白石 睦則 様  
石ヶ崎 渡邊美千代 様  
上西郷 山口 春雄 様  
貞月 大屋由理子 様  
九郎原 匿名 名 様  
宮吉 高倉 洋子 様

【リングブル】

漆生中央 田中茶舗 様  
山野第二 平川 淳子 様  
木城 松尾 公正 様  
石ヶ崎 國武美千代 様  
石ヶ崎 渡邊 とき 様  
貞月 大屋由理子 様  
匿名 様  
匿名 様  
千手小学校 様  
琴平陶芸サークル 様  
こすも会館 様

【アルミ】

古河 塚原 京子 様  
【古切手】  
漆生本村 古賀 澄子 様  
山野第二 古賀 絹江 様  
鳴生第二 匿名 名 様  
中益 匿名 名 様  
上 大塚イチ子 様  
嘉麻市福祉事務所 様  
教育ナビゲーション(株) 様

あなたの会費が、  
社協の地域活動を  
支えています

会員として、次の方々に  
ご加入いただきました。  
(敬称を省略させていただきます)  
11月1日～11月30日受付分  
〈漆生本村〉森裕美  
〈口春〉福島幸子、石井公江、山下栄

子、野見山純子、福永美津子、下原  
英子、永易早苗、宮田悦子、篠寄年  
江、福澤弥生

〈鴨生第二〉高山ツヤ子(二口)

〈熊ヶ畑第三〉平嶋和昭、平島和範、

平嶋勝、中原英洋、野尻六直生、福

岡ウタ子、福岡重人、岩崎キミ子、

吉田レイ子、藤本アヤ子、大田悟、

大田一利、大田富士雄、大田小夜子、

大里廣、平嶋勉、平嶋登、平嶋利喜

松、平嶋宏行、平嶋泰、平嶋狷介、平

嶋モト

〈尾浦第二〉吉丸モモエ

〈尾浦第二〉吉丸慎也、吉丸公隆

〈木城〉大津雅郁、松尾明江

〈三菱第二〉藤原民野

〈長野〉梶嶋周介

〈日吉〉木村豊次、角本房恵、森本月

夫、松向カツエ、松岡フジエ、藤田

真吾、久恒清、田中和昭、河村一、飯

田恒喜、浅野英子、青木正親、青木

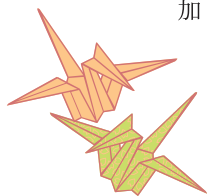
トシ子、定政一、穴井峯敏、浦田守、

松向秀昭

〈下牛隈〉大塚秀親、大塚香代子、福

澤都子

〈宮吉〉徳丸智加



私は、今から26年前、旧稲築町で生を受けました。山々に囲まれた豊かな自然の中で、高校を卒業するまでの時期を過ごし、大学に入ると同時に故郷を離れ、福岡市内で一人暮らしを始めました。大学生生活は部活と勉強に勤しむ毎日で、長期の休みも、部活の遠征で県外に出たり、病院での実習があつたりとなかなか地元に戻る事ができません。岡市内で歯科医として勤務しており、帰省できる機会には年に数えるほどしかありません。



福岡市在住  
園田智之さん  
(26歳)  
樋渡出身

新たな出会いが溢れている都会での生活は、私にとつて実に面白いものですが、ふと心のどこかで寂しさを感ずることがあります。その度に、「ふるさと」で過ごした子どもの頃を思い出し、気持ちを紛らわすようにしています。春には水を張った田んぼでおたまじゃくしを探し、夏には山の奥まで進み虫取り、秋には金色に輝く稲穂の影でかくれんぼ、冬には雪合戦を楽しみました。今こうして言葉にするだけでも、思い出がはつきりとなり、懐かしい気持ちになります。

たまに帰省すると、緑がいつぱいの山々と優しい家族が私をあたたく迎えてくれます。変わらぬ風景に安心感を抱き、家族からの「おかえり」という言葉に都会の喧騒に疲れた心と身体を癒しています。迷うことや悩むことも多々ありますが、地元にかえれば、家族や「ふるさと」が待っていて、私を支えてくれます。街並みや名称が変わろうとも、「ふるさと」は、今もそこにあり、私をあたたくな気持ちにさせてくれる大切な存在です。

私には、今から26年前、旧稲築町で生を受けました。山々に囲まれた豊かな自然の中で、高校を卒業するまでの時期を過ごし、大学に入ると同時に故郷を離れ、福岡市内で一人暮らしを始めました。大学生生活は部活と勉強に勤しむ毎日で、長期の休みも、部活の遠征で県外に出たり、病院での実習があつたりとなかなか地元に戻る事ができません。岡市内で歯科医として勤務しており、帰省できる機会には年に数えるほどしかありません。

コラム 交差点

陰徳

新緑の美しい五月の連休に、留学生の集いに参加するためにJR福北ゆたか線を利用して博多まで出かけることにした。電車は森林を縫うようにスピードを上げて快適に走る。美しい森林を縫うように走るの、フォレストラインと呼ぶ人もいる。美しい自然の中を走る電車が素敵で私は利用することが多いが、いつも午前中の電車は満席である。しかし午後の便で車内は若干空席があった。

うか。三人の男子高校生が座席にいた。今時の高校生はとか、今時の若者はとよく言われるけれど、家庭の躰が学校の生徒指導が十分になされている教育なのか、私はその日は一日中爽快な気分になり、満足な一日であった。これが正に陰徳(人が見ていようが、見てなくても、善いこと)であり、孔子は「陰徳あれば必ず陽報あり」と言っている。つまり陰徳を積んだ人は、後々に必ず善いことが度々あると言うことである。三人の男子高校生の未来に明るくものを感じると共に、家庭や学校での規範意識の養成を痛感した。(飯田 坂田庄八郎)

★ 編集後記 ★



6ページの取材で、テープを聞く方がわかりやすいようにと「音読ドリーム」「福寿草」「朗読コア」のみなさんが、朗読の勉強を熱心に続けていることを伺いました。相手を思いやる優しい気持ちが吹き込まれた声の社協だよりは、図書館で借りることもできますので、ぜひお聞きください。(きはら)



Voiceでは、積極的に活動されている学生のみなさんの話を伺い、自分たちでなにかやろう!とする気持ちがとっても素晴らしいなあと感じました。そして、続けることの大切さを教わりました。今後も「いと」の活動に注目したいです。(みぞくち)



5ページに、空き家管理住まいのサービスのご案内を掲載しています。普段は空き家になっていても、お正月の間だけ帰省されるという方もいらっしゃるようです。もしそのような方が皆さんの近くにおられ、管理にお困りの方でしたら、ぜひこの事業のことをお伝えいただければ嬉しく思います。(たけがわ)



平東行政区の老人会でおしゃべりを楽しむみなさんの笑顔はとても輝いていて、心に残りました。今後も積極的にいろいろな地域に出向き、活動の様子を紹介していきたいです。(かわかみ)



「今月のえがお」のコーナーに出ていただける方を探そうと、たくさんの人に話しかけましたが、なかなか取材に応じてもらえず・・・(涙)。次回は、もっと笑顔で!元気いっぱい!市内をまわりたいと思います>(\*o\*)★(しろがね)

編集後記を書いている本会職員の写真も募集しています。絵が得意な方、ぜひ、ご協力をお願いします。